

資料57-5-1

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
(第57回)R2.7.21

宇宙ビジネス振興の課題 人材育成の視点から

同志社大学大学院ビジネス研究科

村山裕三

宇宙開発利用部会 2020年7月21日

宇宙ビジネスとの関わり

- 専門は、経済安全保障、技術政策、文化ビジネス
- 2000年『テクノシステム転換の戦略』—米国宇宙技術政策の記述
- 2003年JAXA「米国における宇宙産業政策についての調査・分析」
- 2004—06年JAXA産官学連携部招聘研究員、ブレンチーム代表
報告書「新たな宇宙価値の創造—宇宙利用活性化に向けた官民関係の再構築とJAXAの役割」(2006年)

宇宙のビジネス化

- 宇宙とは関係が薄い民間部門の参入による宇宙ビジネスの活性化
 - 宇宙を利用した新たな製品・サービスの開発
 - 民間技術を活用した宇宙技術の研究開発
- (+) 宇宙のダウンサイジング(小型衛星、ロケット)が生み出す
ビジネス・チャンス
- (-) 宇宙ビジネスの高コスト体質

オープンラボでの個人的体験

- 2009年オープンラボに応募-「SPACE SAKURA」プロジェクト
- 無重力の中で「桜吹雪」を散らし、ここから新たなキモノ・デザインを制作-日本の伝統産業(友禅染)から宇宙への参入
- 2012年2月2日に「きぼう」の中にネットを張り、その中で桜吹雪
- 3Dカメラによる動画撮影

Experiment using Sakura-shaped tracers

- Sakura-shaped tracers made of real silk are dyed by traditional Yuzen kimono process and colors.
- 12 colors represent traditional kimono colors





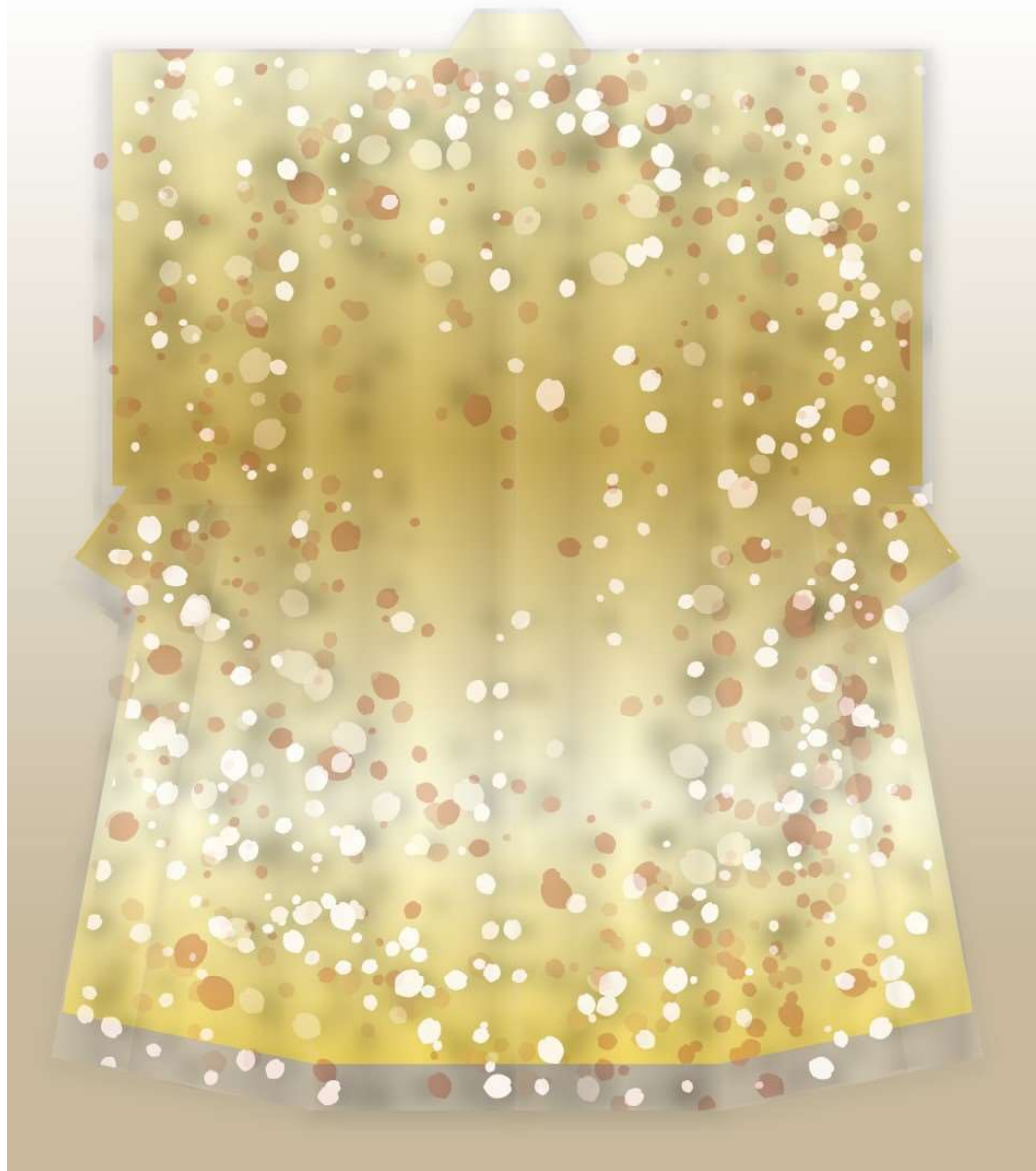
2012. 2. 2

宇宙



着物

3D



着物

浮かび上がったビジネス化の課題

- プロット・タイプのデザインまではできるが(JAXAの費用負担あり)これをどのようにビジネス化するか(独自で費用とリスクを負担)?
 - ビジネス化にチャレンジするメーカーは?
 - 誰がこのような新たなコンセプトのキモノを購入するのか?
 - 誰がビジネスへの橋渡しをするのか?



「死の谷」を経験

- SPACE SAKURAデザインはここで頓挫、別の道を探る

宇宙ゆかた：宇宙の固定層に向けてカスタム化



アート分野へ：妙心寺如是院、禅の場



宇宙ビジネス振興の課題

- マーケットにつなぐシステムの構築(コスト負担問題の克服)
- ビジネスの知識を持ち、民生分野につなぐ役割を担う仲介人材

人材問題

- 大学の宇宙教育の主体は理工系-社会科学からのアプローチはあるものの、ビジネス分野は手薄
- 宇宙ビジネスの振興のためには、ビジネスと宇宙の両方の知識を持つ人材の育成が必要
- 「宇宙技術専門家 × 新たな民間アイデア × 仲介人材」